

**令和２年度第１回
沖縄県福祉のまちづくり審議会
議事概要**

【日 時】令和２年10月20日(火)14時00分～16時00分

【場 所】沖縄県庁６階 第１特別会議室

【出席者】委員定数15人のうち15人出席

(会場参加) 親川修会長、清水肇委員、津波古ヨシ子委員、岸本ひとみ委員、
上江田繁委員、波平道子委員、山川朝教委員

(web参加) 高嶺豊委員、仲本潔委員、田中寛委員、岡野真由美委員、富原加奈子委員、
糸数幸恵委員、筒井昌美委員、宮城寿満子委員

【公開・非公開の別】公開

【議事概要】

《議題１ 会長の選出について》

- 事務局から、バリアフリーネットワーク会議理事長 親川委員を会長に推薦。
⇒ 各委員の同意により、親川委員を会長に選出。

《諮問書の交付》

- 宮平県子ども生活統括監から親川会長に、「障害者等用駐車場の適正利用に関する取組み」について諮問書を手交。

《議題２ 報告（沖縄県福祉のまちづくり条例の概要について）》

- 事務局から、資料１について説明
- 各委員からの意見
 - ・ 事前協議成立率、適合率について
 - ⇒ 事前協議の成立率、完了検査の適合率が低い。建築確認等の手続きと福祉のまちづくり条例の運用が連動していないところに課題があるのではないか。
 - ⇒ 観光立県の沖縄において、ホテル等の適合率が低いことが心配される。目標値の設定を含め、具体的な対策を検討してもらいたい。
 - ⇒ 用途別の適合率等を分析した上で、今後の対策を検討すべき。
 - ⇒ 将来的には、不適合施設への罰則も検討してもよいのではないか。
 - ・ 障害当事者の関わりについて
 - ⇒ 事前協議の際の指導や助言について、障害当事者の意見を取り入れる仕組みを検討してもらいたい。
 - ⇒ 全ての場面で対応することが困難であっても、特に重要な物件に関しては、アドバイザー制度を取り入れるなど、当事者が助言できる仕組み作りを検討してもらいたい。

- ・ その他
 - ⇒ 条例の運用に関して、審議会が継続的に関わる必要がある。個別の諮問だけでなく、継続的な課題に対して、審議会が機能するようにすべき。

《議題3 諮問（障害者等用駐車場の適正利用について）》

- 事務局から、資料2～4及び参考資料について説明
- 各委員からの意見
 - ・ パーキングパーミット制度について
 - ⇒ 障害者等用駐車場の適正利用を図る制度なので導入した方がよいと思う。
 - ⇒ パーキングパーミット制度の導入は大賛成。沖縄は車社会なので、駐車区画の確保が課題。沖縄独自の制度設計があってもよいと思う。
 - ⇒ 発達障害で手帳を持っていない方や、軽度の知的障害でも多動などの障害特性がある方もいる。また、障害のある方が同乗する場合はどうするのか。駐車区画の課題はあると思うが、ただ単に障害者手帳の有無やその区分のみで判断するのではなく、広く検討してもらいたい。
 - ⇒ 車いす利用者は、障害者用の駐車場にしか駐車できない。その区画が埋まっている場合は諦めることもよくある。基本的な考え方として、車いす利用者の需要にしっかり対応できるようにした上で、他の障害のある方にも考慮するようにしてもらいたい。
 - ・ 次回の審議について
 - ⇒ 既に導入している那覇市におけるメリットや課題について教えてもらいたい。
 - ⇒ 導入済みの那覇市、浦添市の取組状況、導入済み他府県の中で特色のある制度について示してもらいたい。
 - ⇒ なぜ今パーキングパーミット制度の導入を検討するのか、現実はどういった問題があるのか、制度に対して何を望むのかを各団体に調査するなどして示してもらいたい。
 - ・ 審議スケジュールについて
 - ⇒ 検討スケジュールについて、3回の審議では詳細な議論は難しく、方向性を示すような答申になると思う。その後の検討体制についてどう継続していくのか確認が必要。
 - ⇒ 審議は必ず3回で終わるということではない。アクションプランも含めて、最後までこの審議会で議論していくこととしたい。